

## 「ダイヤモンドの来た道～シエラレオネ 採掘現場の声～」を使った授業例

対象者：中学生

時限	内容
1	アフリカにおける手掘りダイヤモンド採掘の現状を知り、問題点を把握する。
2	問題の改善のためにできることを考える。
3	自分の考えを感想文にまとめる。 ※小・中学生:原稿用紙 3 枚以内、高校生:原稿用紙 5 枚以内、大学生:原稿用紙 5 枚以内
4	書いた感想文を読み合い、考えを深める。

### 【1 時限目】

準備：短編映画、付箋紙、台紙、副教材

	学習の流れ	予想される生徒の反応	支援	配布用資料/詳細資料
導入	(1) ダイヤモンドについて知っていることを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• きれい</li> <li>• 高価</li> <li>• 婚約指輪に使われている</li> <li>• 半導体に使われている</li> <li>• 研磨の機械に使われている</li> <li>• 世界一固い物質であるなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 宝石としての知識しか出てこない場合は、様々な分野で用いられているということを教える。</li> </ul>	<b>【配布用資料】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近にあるダイヤモンド製品 (P1)</li> <li>• ダイヤモンドの主な産出国 (P1)</li> </ul> <b>【詳細資料】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ダイヤモンドの価値の基準 (P1)</li> <li>• ダイヤモンド採掘権の種類 (P2)</li> <li>• ダイヤモンドジュエリーが私達の手が届くまで (P2)</li> </ul>
展開	(2) 今回の学習内容を理解する。  (3) 映画を視聴する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• シエラレオネ共和国はどこにあるのかな。</li> <li>• 日本とは法や制度がだいぶ違いそうだな。</li> <li>• ダイヤモンドの流れとお金の流れはどうなっているのかな。</li> <li>• 一体、何が問題なのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ダイヤモンド採掘の問題点をつかみやすくするために、シエラレオネ共和国の仕組みや登場人物の関係などを確認する。</li> <li>• 生徒の理解の状況に応じて映画を止めて、登場人物の関係を確認させる。</li> </ul>	<b>【配布用資料】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 映画の舞台：シエラレオネ (P2)</li> <li>• シエラレオネはどんな国？ (P2)</li> <li>• ダイヤモンドのサプライチェーン (P3)</li> <li>• 映画の登場人物とダイヤモンドのサプライチェーン (P4)</li> </ul>
終末	(4) 問題点を出し合う。  (5) どの問題点（人権問題、環境問題）の改	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ダイヤモンドが見つからないと賃金が支払われないのは問題だな。</li> <li>• 子どもが学校に行かずに働かなければならないのは問題だな。</li> <li>• 採掘跡で人がおぼれたり、蚊が発生したりして環境が悪くなるのは問題だな。</li> <li>• わたしたちは、これらの問題点（人権問題、環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題点をグループ化できる KJ 法を用いて、考えさせる。</li> </ul> <p>注) 配布用資料と詳細資料では、ダイヤモンドの課題として 4 つを挙げているが、映画の中で取り上げているのは 2 つのみ。必要に応じて補足する。</p>	<b>【配布用資料】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フェアなダイヤモンドで変わる世界 (P5)</li> </ul> <b>【詳細資料】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ダイヤモンドの課題 (P3)</li> <li>• キンバリープロセスについて (P4～5)</li> </ul>

	善策を考えるか決める。	問題のうち一つ)について考えてみよう。		
--	-------------	---------------------	--	--

注) 4つのダイヤモンドの課題:1)人権問題、2)環境問題、3)児童労働、4)紛争問題

## 【2時限目】

準備：1時限目で用いた KJ 法のシート、発表用の画用紙

	学習の流れ	予想される生徒の反応	支援	配布用資料/詳細資料
導入	(1) シェラレオネ共和国の手掘りダイヤモンドの問題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな問題点にまとめられたのだったかな。</li> <li>大きく3つの問題点(労働問題、人権問題、環境問題)にまとめられたな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時限目に KJ 法でグループ化した問題点を、短編映画の登場人物関係図とともに振り返らせる。</li> </ul>	
展開	(2) それぞれの問題点について改善策を話し合う。  (3) 話し合った改善策を発表し合う。  (4) クラスとして、それぞれの問題点の改善策をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>この問題点の改善策はなんだろう。</li> <li>自分たちにできることは何かな。</li> <li>少しでも問題が改善されていくといいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いが行き詰まったグループには、登場人物の立場にたって考えるよう促すなど、机間支援を行う。</li> <li>改善策をみんなで共有できるように、画用紙にまとめさせる。</li> <li>自分たちのグループが出した改善策と似ているところや違うところに着目しながら発表を聞かせる。</li> <li>発表後に、発表を聞いた感想を述べながら、改善策を共有させる。</li> </ul>	<b>【配布用資料】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤモンドを選ぶときの3つのポイント(P6)</li> </ul> <b>【詳細教材】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤモンドの課題を解決するために私たちができること(P6)</li> <li>ダイヤモンドを買う時、お店で聞きたいこと(P6)</li> </ul>
終末	(5) 自分の考えと感想文の構成を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループはどんな改善策が話し合われたのかな。</li> <li>なるほど。これは思いつかなかったな。</li> <li>この改善策には問題点があるぞ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想文が書き出せない生徒には、段落ごとの書き出しを提示するなど支援を行う。</li> </ul>	

## 【3時限目】

グループごとにまとめた「改善のためにできること」を見返しながら、自分の意見を作文にまとめる。

## 【4時限目】

時間に猶予があれば、書いた作文を読み合う。